



東京立川
ロータリークラブ

【司会進行】

SAA委員会 田島瑞也委員長

【開会点鐘】 中野裕司会長

立川こぶしRC 河村勝久会長

【国歌斉唱】

【ロータリーソング斉唱】

『奉仕の理想』

【お客様の紹介】 中野裕司会長

【会長挨拶】 中野裕司会長

立川こぶしRC 河村勝久会長

【ガバナー挨拶】 国際ロータリー

第2750地区ガバナー 猿渡昌盛様

【幹事報告】 田中 太幹事

【ニコニコ発表】

親睦委員会 横手好一委員長

【出席率の発表】

出席委員会 井上修一委員長

10月6日(金)	会 員 数	108名
	出 席 義 務 会 員	102名
	出 席 免 除 会 員	6名
	当 日 出 席 者	90名
	出席免除会員の当日出席者	3名
	出 席 率	85.71%
	9月22日の出席率	休 会

【卓話】 国際ロータリー第2750地区
ガバナー 猿渡昌盛様

【謝辞】

立川こぶしRC 河村勝久会長

【閉会点鐘】 中野裕司会長

2017~2018年度 RIテーマ



ロータリー
変化をもたらす

2017~2018年度 国際ロータリー会長 イアン H.S. ライスロー

2017~2018年度 クラブテーマ

Be surprised!! Rotary!

「感動を忘れずに!」

東京立川ロータリークラブ
会長 中野裕司



例会時には必ずバッジをつけましょう

Weekly Report

2017.10.6 第2765回 例会



ガバナー公式訪問・立川こぶしRC 合同例会

【会長挨拶】 中野裕司会長

猿渡ガバナー、金丸地区幹事、村上ガバナー補佐、山崎グループ幹事には早い時間から公式訪問にお越し頂き有難うございます。別室にて懇談会を開催し、我クラブの今年度の活動方針などを説明させて頂き、猿渡ガバナーからは今後のロータリークラブについての貴重なご意見そしてご指導を頂きました。今後のクラブ運営に役立てて行きたいと思ひます。今年度の我クラブテーマは、「Be surprised!! Rotary!」「感動を忘れずに!」とさせて頂きました。皆さん最近心に響くような感動、感激した事がありますか。歳をとれば取る程に初心を忘れ、好奇心が無くなり、感情や感動が薄くなるものです。近年では若い世代でも物事に対して無頓着で、新しい価値観が見出せず、感性が欠落しているように見受けられます。自分の感覚神経が未知なる物の何かに触れた瞬間に感じたものが「驚き、感動、感激」に繋がるのではないのでしょうか。ロータリーライフを通じて毎日の生活の中で、新しい何かを「見て、触れて、感じて」もらえたらと思ひます。先日、村上ガバナー補佐、山崎グループ幹事をお招きしての全員クラブ協議会を例会で行いました。今年度の基本方針を議題として取り上げて開催しましたが、基本方針としては「五大奉仕及び各委員会の活動強化」「奉仕の精神と親睦の調和」「現状維持して会員増強」「肩肘張らずに楽しいロータリーライフの実現」「礼節の尊重」と五つ掲げました。どれも充実したロータリーライフを遂行する為には、必要不可欠なものではないでしょうか。最後に立川クラブと立川こぶしクラブとは、年に3回このような合同例会が開催されています。まず今日のガバナー公式訪問合同例会を始め、クリスマスチャリティーコンサート、来年1月には新年賀詞交歓会が開催されます。こういう機会をチャンスに、普段お付き合いのないメンバーの方々との交流が図れる良い機会になるのではないのでしょうか。本日は猿渡ガバナーの卓話が聞ける例会ですので、是非今後の両クラブの活動の一助にさせて頂きたいと思ひます。そして両クラブの益々の発展を祈念し、会長挨拶と致します。



中野裕司会長

【お客様の紹介】 中野裕司会長

猿渡昌盛様<第2750地区ガバナー>

村上隆秀様<第2750地区多摩中グループガバナー補佐>

金丸清泰様<第2750地区地区幹事>

山崎義晴様<第2750地区グループ幹事>



司会進行
田島瑞也委員長



ソングリーダー
田中清次郎委員



ニコニコ発表
横手好一委員長



出席率の発表
井上修一委員長

【懇談会風景】



【合同例会風景】



【ガバナー挨拶】

国際ロータリー第2750地区ガバナー 猿渡昌盛様

本日は立川クラブと立川こぶしクラブとの合同例会であるガバナー公式訪問の開催をいただき有難うございます。新藤パストガバナー、伊藤先輩始め多くの大先輩方がいらっしゃいます中卓話をさせていただきますが、どうぞ宜しくお願い致します。



【幹事報告】 田中 太幹事

●「平成29年7月九州北部豪雨災害」に対する、当クラブからの義捐金に対し2500地区ガバナーより、心温まるご支援を賜った事に対する御礼が届いております事をご報告申し上げます。



●ガバナー月信10月号が10月4日にメール配信されております。ご一読下さい。

●本日18:00より、第4回理事会がフロム中武会議室にて開催されます。会場は、8階会議室となります。

●次回の例会ですが、入会セレモニーを始めとするスケジュールが盛りだくさんの為、お食事の開始時間を12:00からとさせていただきます。

【ニコニコ発表】 親睦委員会 横手好一委員長

●中野裕司会長 猿渡ガバナー、金丸地区幹事、村上ガバナー補佐、山崎グループ幹事のご来訪を歓迎致します。そして、両クラブの会員の皆様のご協力に感謝!!

●田中 太幹事 本日まで来訪頂きました、猿渡ガバナー、村上ガバナー補佐、金丸地区幹事、山崎グループ幹事、本日は宜しくお願い致します。

●亀田真理さん 来る10月10日、伊勢丹立川店は出店70年を迎えます。これも開店以来ご支援頂いた立川の皆様のおかげです。今後とも宜しくお願い致します。

●伊藤平八朗さん 国際ロータリー第2750地区ガバナー 猿渡昌盛氏、幹事 金丸清泰氏、ガバナー補佐 村上隆秀氏、幹事 山崎義晴氏「おいで」をお待ちしておりました。

本日合計 27,000円 本年度累計 912,000円

「ロータリー：変化をもたらす」
国際ロータリー第2750地区ガバナー 猿渡昌盛様

2017-2018年度の第2750地区のガバナーを努めさせて頂いております、猿渡昌盛です。まずは益子悦雄様には青少年奉仕委員会、青少年交換委員会の副委員長をお務め頂いており、また立川こぶしより新藤様には地区諮問委員会委員、規定審議会アドバイザー、また金丸様には地区幹事、研修委員会、岩崎太郎様にはロータリー財団委員会、ロータリー平和フェロシップ委員会の副委員長、奥田様にはロータリー財団委員会・ポリオプラス委員会の委員をお努め頂いております。本当に多くの皆様にご出向頂き有難く思います。本年度地区委員会の活動では上から伝えているような状況ではありますが、本来は各クラブの基本的な活動の基に地区が下から支えていくというのが本来の姿ではないだろうかという事で、財団からの資金を活用して頂く為に専門の担当者を用意させて頂きました。一部ご指摘もありましたが、地区としては各クラブの活動を下から支えるという意味合いですので、ご理解を頂けたらと思います。また地区出向を頂いている皆様には地区での活動をクラブに持ち帰って頂いて、クラブの活性化のために役立てて頂けたらと思っております。私は東京武蔵府中ロータリークラブ出身ですが、当クラブは1988年6月に発足し来年30周年を迎える、まだまだ新しいクラブでありまして、会員数は47名、



女性会員が2名となっております。発足時のチャーターメンバーが自身の父であります、貴クラブでは3代に渡り会長を務められている方がいるという事で、まだ努力が必要であると思います。私のクラブでの活動ですが、府中市は元々ダストボックスを道路脇に設置しておりましたが、ゴミの減量が中々進まないという事で、ゴミ袋による回収に切り替えました。小学生の皆様にもご理解頂くために実施したのが「家庭で考えるゴミ問題」です。ゴミは元々焼却灰が問題でありましたが、現在は高温で処理できるようになった為に、現在はエコブロックが生成出来るようになりました。ただエコブロックは単価が高く、すぐに建築会社に採用して頂くのが難しい状況であり、とりあえずこの事業とは別に駅前に時計台を設置致しました。自身の仕事は神社の神主でありまして、国際化からは一番立ち後れている状況であり、未だに社務日誌は墨をすって書いております。RIの会長テーマにつきましては、ご承知の通り「変化をもたらす」であり英語では「Making a Difference」としており、「Difference」と「Change」は何が違うのかとガバナー会でも話しが上がりましたが、Changeは取り替えてしまうという事になりますが、Differenceはロータリーが持っている良さを見直し、縦断的な活動をしようという事を会長が言われまして、ガバナー同士で討論致しました。オーストラリアご出身のイアンH.S.ライズリー会長は奥様もロータリアンで、お仕事は公認会計士でありお二人ともガバナーを努められたとの事です。私は身長が183センチと恵まれており中学卒業時には相撲部屋からのお誘いも頂きましたのですが、会長は190センチぐらいあろうかという大柄であります、しかしながら大変軽やかに動かれており、テーマを発表されておりました。アトランタでの閉会式で気さくに写真も撮って頂きましたが、その時にいらした当初会長エレクトのサミュエル・オオリ氏のご病気にて逝去され、その後選出されたのが、バハマご出身のバリー・ラシン氏であります。その後はアメリカアラバマ州のマーク・ダニエル・マローニー氏で弁護士であります。会長は「ロータリーとは何か」と問われた答えとして、ロータリーが与えてくれる可能性を持続可能な有意義な方法によって色々実現する事があるのではないかと話されています。ポリオ、国際奉仕、地域社会への奉仕それぞれが重要な意義で、それを持続可能に奉仕する事が更に重要だと話されていました。ロータリーの設立当初、公正な商取引や他業種の方々と話し、自身の仕事に活かせるような会を作るという事で、それぞれの会員の事務所を持ち回りで開催した事でロータリーの名前が付いた事をご承知の通りと思います。親睦や友情、委員会活動での経験が個人的な成長に繋がる事で、仕事にも役立つという事を力説しておられました。また1クラブでの事業で世界を動かすという事は難しくても、多くのクラブが財団の基金を基に大きな事業を行う事で、世界が素晴らしく変わ

るのだとも話されておりました。「変化をもたらす」というテーマの中で持続していくために必要な変化として、若い会員を多くして欲しいとの事で、現在平均年齢が60歳前後であります、更に若い年代からのフォローで、奉仕事業の先兵として働いて頂く事も必要ではないかと説かれておりました。変化を起こす人になるのか、変化の犠牲者になるのかという事ですが、携帯電話の進歩ということを引き合いに出して話されておりました。以前携帯電話は肩に背負うほどの大きさでしたが、写真も撮れメールも打てるようになるという素晴らしいシステムに進化しました。この10年間でこのように変化したのに、ロータリーは全く10年間で変化しなくて良いのか。「世界を変える行動人」というのはロータリーとしての新しいテーマであります、地区の補助金を使って素晴らしい事業を行って頂きたいという願いがあり、これもロータリーの活動だと話されておりました。魚を食べたいと思う人に魚を与えられても、ただ食べて終わりになってしまいます。それだけでなく魚の釣り方、餌の付け方から全てを教える事も必要なのです。またロータリーとして井戸の掘削事業も良く行われていますが、ただ井戸を掘って水をまかなえた事で、子供たちが水汲みをせずに勉学に励めるから良いという事ではなく、その後も井戸の維持管理ができる人材を育てあげるところまで進めることも必要であります。皆様の事業が単に開催することで終わりではなく、継続的に開催され役立っているかという事も振り返る必要があると思います。8月15日からPB(パシフィックベース)の島々に公式訪問として行ってまいりましたが、その場でも木を植えてきましたし、その他様々な経験を積ませて頂きました。またPETSもRLI方式で開催しまして、見るだけ聞くだけではなかなか習得ができません、自分も語ることによって運動方針を理解頂いたと思っております。またテーマの中の1つでMy Rotaryの登録が、50%で課題クリアとなってきましたがまだ100%ではないので、是非皆様の登録をお願い致します。自身のクラブでの目標数をパソコンにて登録いただくシステムとなっております。またダッシュボードではあらゆる課題の進捗状況がわかるようになっておりますので、是非ご覧頂きたいと思っております。またロータリーショーケースでは、各クラブの奉仕事業を掲載できるようになっておりますので、是非更新していただきたいと思っております。これは海外RCとの共同事業という際にも、更新状況が把握しやすいという事で、有効なツールとなっております。またRI強調事項においては以下の4点です。まずはポリオの撲滅ですが、いまだに10件発生しております。国際ロータリーとしては完全な撲滅に至るまで、すべての事業に優先する事項と位置づけています。これは日本ではいわゆる小児麻痺と言われており、健常者と全ての行動を共にする事ができない状況になります。世界ではこのような状況がいまだに続いておりますので、是非引き続き皆様にもご

協力頂きたいと思います。日本では1947年以降発生しておりませんが、ワクチンの費用はまだ高い状態です。しかしポリオの撲滅によって、現在の4種混合ワクチンから3種混合ワクチンになる事で安価にもなります。続いて会員増強についてですが、クラブの中の女性会員の比率を、出来れば20%近くになるよう進めていただきたいと思います。また併せて若い会員の募集を進めていただきたいと思います。ポールハリスという人の印象は、皆様高齢だと思われるかもしれませんが、彼がシカゴで弁護士事務所を開いた時は、まだ36歳10ヶ月でした。翻って日本で大きく変化をもたらしたといえば、徳川幕府最後の将軍徳川慶喜で、二条城での大政奉還ではないでしょうか。この時31歳。その他坂本龍馬、西郷隆盛、井伊直弼も大変若い時に活躍をされましたし、RI会長もとにかく若い方々が活躍出来るクラブになるべきだと説かれました。またRI強調事項として「柔軟性のあるクラブ」という事で、月例会回数が2回でも良いとなりましたし、祝祭日の場合は休会をしても良いとなりました。またwebでの参加も認められるとの事で、退会防止にも役立つとの記事がロータリーの友9月号に掲載されています。また奉仕事業の例会では理事会での承認で、会場変更が可能になっております。また若い方々への育成支援という事で、ローターアクトやインターアクトも自クラブで大きく支援して欲しいとの事でした。特にローターアクトに関してはロータリーとの重複在籍も認められております。青少年交換の推進については、東京都区内では住宅事情が厳しい状況もありなかなか難しいのですが、その点多摩地区は多少有利でありますので、是非お引受け頂けたらと思います。RIではこの交換事業を推進しておりまして、当初はイギリスやフランス・スペイン等が発祥だそうですが、近年あくまで同人数の交換という事で、制度運営が難しい状況にあります。従って一人でも多くの受け入れをする事で、門戸が広がります。しかしながら受入れには140～160万という高額な負担も現実として掛かりますので、少人数のクラブにとってはとても重い負担となってしまいます。しかし地区から60万、財団からの申請内容によっては20万程度の補助が出るという状況ではありますが、それでもかなりの負担でありますので制度的に考える必要があるかと思います。国際平和フェローの育成につきましてはICUで受入れを行っており、年一度成果の発表会をされていますので、是非ご覧頂きたいと思っておりますし卓話にお呼び頂ければ幸いです。地区強調事項については皆様ご承知の通りかと思いますが、まず

クラブを支援する、また奉仕の実践が本当に市民に認識されているかを考えながら、更に奉仕の内容を変えていく事で、ロータリーの素晴らしさをご理解頂く事も必要です。また戦略計画を立てる事は、ロータリーの5年後10年後の姿を見た時を鑑みた長期ビジョンでなければならぬと思います。2020年の東京オリンピック・パラリンピックについては、あまり馴染のない国からの出場に関して、応援が少なくなることが考えられますし、馴染のない種目についても同様ですので、まず競技を良く知るといふ所から始めようと、地区では奮闘しております。また情報交流を深め、クラブの基盤維持を支援する事についてですが、年明けに事例研究会を開催致しますので、ご参加頂きたいと思っております。また公共イメージ向上と広報活動を積極的に推進する事については、東京のメディアについては地方新聞広告やテレビの宣伝に比べ非常に高額の為、何が出来るかを考えましたが、現在ロータリーの友は1冊¥200となっておりますので、現在会員数分は購入が義務となっておりますが、これを少しでも多く購入頂き、それぞれの事業所で配布して頂けたらと思っております。その他財団への支援という事で、前年クラブの実績より10%アップの目標設定、年次基金会員1名、150ドル以上、ベネファクター（恒久基金への寄付が1,000ドルに達する寄付者）会員99名以下のクラブは1名以上、会員100名以上のクラブは2名以上、ポリオプラスへの寄付1クラブで1,000ドル以上、大口寄付者 レベル1（寄付累計額が10,000ドルに達する寄付者）～地区で10名以上、レベル2（寄付累計額が25,000ドルに達する寄付者）～地区で2名以上となっております。続いて「世界を変える行動人」については新しい広報活動のテーマになっておりまして、ロータリーの補助金を利用して、立派な事業を展開していただきたいとの事です。米山記念奨学会ですが、一昨年に大口の寄付があった為、今年も一人当たり¥20,000と高額となっております。財団への寄付の総額は規定によって配分され割り当ての人数が決まりますが、当地区は大学も多い為に、全体の留学生の12.4%を占めております。しかしながら名古屋地区では寄付が多い為に、割り当ての学生数も多く、東京の北側第2780地区に関しては寄付が少ない為に割り当て数も少なくなっております。ロータリアン一人としての力は限りがありますが、これがクラブ全体として活動すれば、地域が変わります。また更に大きな組織体全体として活動すれば、世界も変わります。是非素晴らしいロータリーを活用して、平和の為に力をお貸し頂きたく思います。

■ 事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】 042-525-4046 【FAX】 042-529-2666
【HP】 <http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】 ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

■ 例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
TEL：042-527-1111
■ 例会日／金曜日 12：30点鐘
会長／中野裕司 幹事／田中太 会報担当者／安藤永一委員長